

地域に希望を

一人人口減少時代の地方財政を問いなおす

少子高齢化社会の進展により人口減少時代が到来しています。数年前の増田レポートによると消滅する自治体が続々と生まれるとの報告もされました。しかし、この事態にたいする有効な処方箋はいまだにどこからも提案されておらず、むしろ、社会保障の削減と雇用の喪失など、未来への不安は増すばかりです。政権側の主張は「自己責任」と「節約」が唯一の解決策のような雰囲気がある、その風潮が社会的に蔓延しているともいえます。

自治労は2016年9月より「人口減少時代の自治体財政構想プロジェクト」を慶応大学の井手英策先生を主査に若手研究者とともに討論を行い2017年12月に報告書をまとめました。この提言は「オールフォーオー

ル」をスローガンに今後の税財政をどのように構築するのか、社会保障はどうあるべきか大胆にまとめたものです。井手先生の発言は一部のメディアでは注目をあびましたが、昨年の衆議院選挙での民進党の解体など、政策的にはいまだ、現実化されておりません。

今回の講演会はそのプロジェクトで中心的な役割をはたした新進気鋭の研究者である高端正幸先生をお呼びして今後の日本社会はどうあるべきかを大局的な視点からお話を聞くことにしました。関係する皆様のご参加をお待ちしています。

[講演会資料代 500円 会員無料]

自治研センター 講演会のご案内

- 日時：2018年6月23日（土）
15時～17時
- 会場：千葉県教育会館本館 303会議室

<講演 講師紹介>

高端正幸氏
(たかはし まさゆき)



<現職> 埼玉大学 大学院人文社会科学研究科 准教授

<略歴> 1974年生。東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学。博士（経済学）。聖学院大学講師・准教授、新潟県立大学准教授等を経て、2015年より現職。東京都税制調査会委員、日本地方財政学会理事、日本自治学会理事。主著に『復興と日本財政の針路』（岩波書店、2012年）、『地方財政を学ぶ』（共著、有斐閣、2017年）、『福祉財政』（共編著、ミネルヴァ書房、近刊）など

★ お申込は自治研センターへ 電話 043-225-0020
FAX 043-225-0021
☆6月8日（金）までにお申し込み下さい

- 主催：千葉県地方自治研究センター
- 共催：自治労千葉県本部
- 後援：連合千葉